

声楽レッスン体系

本科	導入段階	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階
内容	<p>簡単な唱歌、童謡や小学校音楽教科書程度の歌を表現してみよう</p> <p>発声の基礎を学びましょう</p> <p>楽譜の見方、リズムの取り方について、知識を得ましょう</p>	<p>音楽の教科書や親しみのある日本歌曲・ポピュラーなど、表現の幅を広げましょう</p> <p>音高や音価を正しく取れるよう理解しましょう</p>	<p>発声教科書を使って発声の基礎固めをしましょう</p> <p>カンツォーネや歌謡曲など色々なジャンルに挑戦しましょう</p> <p>楽譜に書かれている音楽用語なども意味を考えて歌いましょう</p>	<p>イタリア歌曲、日本歌曲の表現・演奏方法など習得しましょう</p>	<p>コンコーネなどで技術を磨きましょう</p> <p>外国語の歌曲の発音にも慣れましょう</p>	<p>ミュージカルや古典のアリア、トスティ歌曲などを原語で歌いましょう</p>	<p>オペラアリア、ドイツリートやフランス歌曲など挑戦できるレベルです</p>	<p>いままでの経験を活かして、さらに声を活かす方法を色々なジャンルで先生と探しましょう</p>
習得度の目安	<p>声を出すことに慣れましょう</p>	<p>音楽表現の基礎となる発声技術を身につけましょう</p>	<p>身に付けた基礎を曲の中で表現に活かしましょう</p>	<p>曲のスタイルに合わせた表現法を工夫しましょう</p>	<p>序々に声に合わせてレパートリーをひろげます</p>	<p>これまで学んだことを個人の声質に合わせて充実させます</p>	<p>高度な内容にも挑戦しましょう。</p>	<p>専攻科に編入できるレベルです</p>